

## 令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	児童劇
----	----	----	-----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	無	申請総企画数	
---------	---	--------	--

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ げきだんかかしぎ 有限会社 劇団かかし座	団体ウェブサイトURL <a href="https://www.kakashiza.co.jp">https://www.kakashiza.co.jp</a>
代表者職・氏名	代表取締役 後藤 圭	
制作団体所在地	〒 224-0026 神奈川県横浜市都筑区南山田町4820-1	最寄り駅(バス停) 横浜市営地下鉄 東山田駅
電話番号	045-592-8111	
ふりがな 公演団体名	ゆうげんがいしゃ げきだんかかしぎ 有限会社 劇団かかし座	団体ウェブサイトURL <a href="https://www.kakashiza.co.jp">https://www.kakashiza.co.jp</a>
代表者職・氏名	代表取締役 後藤 圭	
公演団体所在地	〒 224-0026 神奈川県横浜市都筑区南山田町4820-1	最寄り駅(バス停) 横浜市営地下鉄 東山田駅
制作団体 設立年月	1952年7月	
制作団体組織	役職員 代表取締役 後藤 圭 取締役 飯田周一 西垣 勝 山下義文	団体構成員及び加入条件等 団体構成員 計23名 加入条件:劇団の行う選考に合格する事
事務体制 (専任担当の有無)	他の事業と兼任の事務担 当者を置く	本事業担当者名 西垣 勝
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名 井上かおる

<p>制作団体沿革</p>	<p>1952年、日本最初の現代影絵専門劇団として創立。53年、NHK 専属劇団となる。59年、会社法人(有限会社)設立。64年、学校公演を開始。73年、NHK特別番組「竹取物語」を制作。(モンテカルロ国際TV 映画祭優秀作品)。以後、様々なTV 局を通じて影絵作品を制作・放映。84年、東京から横浜市に本拠を移し、以後今日まで児童劇作品を中心に制作・上演。07年、第1回アジア児童青少年演劇フェスティバル参加。09年、岐阜県下呂市より委託を受け、影絵昔話館「しらさぎ座」の常設公演開始。(19年終了)。09年、手影絵作品でドイツ国際影絵フェスティバルに参加。以降、毎年国際フェスティバルに招聘され、現在までに24カ国34都市で公演参加。19年3月、韓国の人形劇団Art Stage SANと合同企画「ごめんね、ありがとう！る島の秘密」を制作し、東京・横浜で初演。8～9月に韓国各都市で上演。 21年8月、「ふしぎの国のアリス」を制作し、横浜で初演実施。23年3月に「Hand Shadows ANIMARE II ～アンデルセンの世界～」を新作制作予定。</p>				
<p>学校等における公演実績</p>	<p>昭和39年 学校公演を開始。令和元年度は年間378日の公演の内、141日を国内の小中学校で実施(令和2年以降はコロナにより学校の公演は大減少)。令和4年度は若干、公演数が増えつつあり。その他、公立文化ホールにて、教育委員会や文化ホール指定管理者等主催の児童生徒の団体鑑賞公演を実施している。 今日までに制作した舞台作品は50を超え、平成24年に「魔法つかいのおとぎばなし」、平成25年に「宝島」が厚生労働省社会保障審議会・特別推薦児童福祉文化財を受賞。他、東京都優秀児童演劇選定優秀賞、厚生労働省社会保障審議会・推薦児童福祉文化財など、受賞作品多数。 【近年の小・中・特別学校での上演実績】(文化庁事業を含む) 令和3年度 152ステージ(コロナの影響で公演数激減) 「Wonder Shadow Labo」47ステージ、「三枚のおふだ」30ステージ、「長靴をはいたねこ」75ステージ その他作品あり</p>				
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>(文化庁事業を含む) 平成23年度4校、平成24年度2校、平成25年度3校、平成26年度2校、平成27年度1校、平成28年度4校、 平成29年度 「三枚のおふだ」1公演、「長靴をはいたねこ」2公演、他1公演 平成30年度 「Wonder Shadow Labo」2公演、「長靴をはいたねこ」1公演、「三枚のおふだ」1公演(大田区立小・中学校特別支援学級合同鑑賞) 令和元年度 「Wonder Shadow Labo」2公演、「長靴をはいたねこ」1公演 令和2年度 特別支援学校での公演は実施無し(コロナの為、教校中止) 令和3年度 特別支援学校での公演は実施無し(コロナの為、教校中止) 令和4年度 影絵WSを8校実施予定(ボディーシルエットを使ったWS)</p>				
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>			
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p><a href="https://www.youtube.com/watch?v=gTVbUF0czVQ&amp;list=PLC0MGJlv2tX-">https://www.youtube.com/watch?v=gTVbUF0czVQ&amp;list=PLC0MGJlv2tX-</a></p>			
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<table border="1"> <tr> <td>ID:</td> <td></td> </tr> <tr> <td>PW:</td> <td></td> </tr> </table>	ID:		PW:
ID:					
PW:					

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 有限会社 劇団かかし座 】

対象	小学生(低学年)	○	
	小学生(中学年)	○	
	小学生(高学年)	○	
	中学生	-	
企画名	Wonder Shadow Labo (よみ)ワンダー シャドウ ラボ		
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>「Wonder Shadow Labo」(ワンダー シャドウ ラボ) 脚本・構成・演出/後藤圭、「シエトの冒険」台本/若林一郎、 児童参加プラン/太宰久夫・後藤圭 舞台美術/齊藤浩樹 音楽/石川洋光、衣裳/中矢恵子、共演児童衣装・小林巨和、 振付/楠原竜也、児童参加部分の振付/神崎由布子 音響/山北史郎(山北舞台音響)、照明/坂本義美(龍前舞台照明研究所)、 影絵美術監修/後藤圭 影絵美術/劇団かかし座美術部、小田純治、小島直子、とうたいよう</p> <p style="text-align: right;">公演時間 約80 分</p>		
著作権、上演権利等 の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要 否	該当あり	該当コンテンツ名 影絵 (絵・キャラクター・背景)
	該当事項がある 場合	権利者名 影絵：劇団かかし座	許諾確認状況 使用(上演)許諾取付済
演目概要	【別添あり①】		
演目選択理由	【別添あり②】		
児童・生徒の共演、 参加又は体験の形態	【別添あり③～⑨】		
出演者	伊藤篤志・松本侑子・梅原千尋・本望晴香		
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含 む	出演者: 4 名 スタッフ: 5 名 合 計: 9 名	運搬	積載量: 2 t 車 長: 5 m 台 数: 2 台

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		3	時間程度
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	7:30	7:30～10:30	13:30～15:00	10分	15:00～17:00	17時30分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	10日	0日	0日	9日	0日	
	11月	12月	1月	計	24日	
	0日	0日	5日			
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。					

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	40名(合計人数)
		鑑賞人数目安	500名

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出や  
がわかる写真)

※採択決定後、採  
択団体へ図面等詳  
細の提出をお願い  
します。



(写真1)  
舞台が大きい為、  
体育館のステージ上での公  
演は不可。  
体育館のフロア上に舞台  
を設置します  
舞台設置面積  
奥行き:7.5m  
間口:11m  
(子供達の参加人数に  
よって変更あり)



(写真2)  
舞台後方に幕を吊るす為、  
体育館の状況によって舞台設置  
場所を体育館のステージの逆、  
横方向に設置する場合もあり  
ます。  
児童入場口によっても舞台設置  
を変更する場合があります。




(写真3)  
影絵の美しい背景に合わせて、  
役者は生台詞・生歌で演じます。

【公演団体名 有限会社 劇団かかし座 】


児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	最大50名程度(A～E各10名程度)
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>【導入】・影絵の体験学習。  【A】・玉人形チーム:玉人形の製作とショーの構成。  【B】・手影絵ショーチーム:手影絵の学習とショーの構成。  【C】・シエト応援隊チーム:台詞&amp;歌&amp;ダンスの練習。</p> <p>詳細は別添⑨</p>		
ワークショップの ねらい	<p>日常では絶対に体験出来ない、かかし座独自の影絵を体験してもらう事は勿論、手影絵、台詞や歌・ダンスを練習し人前で演じる難しさや緊張感・達成感を味わってもらいます。  また、人前が出るのが難しい児童には創造力と想像力を高め、影絵人形(玉人形)を製作してもらい、自分で作ったオリジナルの影絵人形をスクリーンに映して自分で作った作品が影絵に映る喜びを感じてもらいます。</p>		
その他ワークショップに 関する特記事項等	<p>参加人数・参加シーンの関係で、体育館・音楽室(動きが出来る場所)・工作室(工作が出来る場所で教室でも可)の3会場をWSの時間中、確保いただく必要があります。  3会場の確保が難しい場合は、その都度、確認し対応します。</p> <p>詳細は別添⑨</p>		

リンク先	No.2	【公演団体名 有限会社 劇団かかし座 】
項目内容	<p>『Wonder Shadow Labo』は、平成27年度文化庁「トップレベルの舞台芸術創造事業」で文化ホールの上演作品として制作・上演した『Wonder Shadow』を、学校でも上演可能な作品として改編したものです。影絵表現の仕組みと面白さ、不思議さを影絵実験ショーとして上演します。実験室を模した舞台セットの中、俳優たちは日々影絵の研究に取り組む博士と研究員(Dr.シャドウ)に扮し、作品は進行していきます。Part1～3の3部構成となっており、Part1,2ではDr.シャドウたちが身近な素材や自分の身体で様々な影絵表現ができることを実験を通して提示し、Part3ではDr.シャドウたちがそれら影絵表現を用いてお話を上演する劇中劇になっています。特にPart3の「シエトの冒険」は美しい影絵と数々の音楽・歌が合わさり、かかし座オリジナル、ミュージカル仕立ての楽しい演劇作品になっています。</p> <p><b>【Part1】 Dr.シャドウの影絵ラボ 30分</b>          ちょっと頼りない博士とDr.シャドウたちが、秘密の実験室で繰り広げる楽しい影絵実験ショー。ボールやハンカチ、積み木から不思議な影が次から次へ現れる！ 皆がやってみたくなるワクワクドキドキの実験ショーです。(途中、玉人形チームが参加)</p> <p><b>【Part2】 Hand Shadow Show上演 10分</b>          手と体だけでいろいろな動物の影を紡ぎ出してみせる、劇団かかし座得意の「Hand Shadow Show」。世界中のフェスティバルやTV番組でも大人気のパフォーマンスです。かかし座と合わせ、事前ワークショップで指導した児童による上演も行います。</p> <p><b>【休憩10分】</b></p> <p><b>【Part3】 影絵劇「シエトの冒険」上演 40分</b>          お話を作った博士は、Part1,2の手法を用いてDr.シャドウたちとお話ごっこを始めます。          [あらすじ]遠い遠いどこかの国で、雨が降らずに困っている村があった。そこには何とかして村人の役に立とうとする勇気のある少年がいた。名前はシエト。          シエトは村の古くからの言い伝えを信じ、雨を降らせるドラゴンを探す旅に出る。途中、小人や妖精を助けたシエトは、彼らから様々な助けを得る。しかしその旅は困難の連続で…。          (シエト応援隊&amp;妖精隊がシーンで参加)</p> 	


リンク先	No.2	【公演団体名 有限会社 劇団かかし座 】
項目内容	<p>『Wonder Shadow Labo』は、平成30年4月の初演以来、令和4年9月まで、幼稚園の団体鑑賞会・小学校・特別支援学校・文化ホールを中心に、約400ステージ以上、上演しました。</p> <p>影絵劇においてはスクリーン裏側にあって観客からは見ることのできない表現の仕組みを公開するという、今までに無い斬新な作品スタイルと、そこで様々な工夫と芸術性が大変高い評価を得ています。</p> <p>子どもたちは影の特性を利用した表現を鑑賞・体験することで、発想力、表現力・協調性を豊かにします。</p> <p>また、どんな困難にも負けず自分を信じて立ち向かい、諦めていた村人のやる気を起こし、自分たちの村を再生するシートの姿は、子どもたちの心に深く残り、勇気と成長の糧となると考えます。</p> <p>美しい影絵、大掛かりな舞台装置や役者の熱演を間近で観たり感じたりする体験は、思わず体から溢れる感動となり、将来の芸術家・表現者の育成や芸術鑑賞能力の向上につながると確信しています。</p> <p>令和2年度・3年度・4年度(6月まで)の巡回公演でも、各実施校より大変ご好評いただいた事、また、固められたプログラム・進行構成の作品ではなく、柔軟に構成されている作品であり、コロナの状況でも各学校の要望に合わせて公演時間の短縮・参加シーンの縮小・参加人数の現場修正など臨機応変に対応できる作品であるのも、演目選択の理由の一つとなります。</p>	

リンク先	No.2	【公演団体名	有限会社 劇団かかし座 】
項目内容	<b>A. 玉人形ショーの上演</b> 事前ワークショップで製作し構成を練習した玉人形によるショーを、音楽にのせて上演します。 （[共演者の学年・人数]中～高学年4～10人程度 ※偶数が望ましい 当日リハーサルあり） <b>玉人形でショーを上演しよう</b> 俳優の紹介を受けてステージに上がり、事前ワークショップで取り組んだ玉人形によるショーを、音楽にのせて上演します。 <b>ポイント</b> 光源に対し玉人形の向きを調整することによって、横顔がきれいに映ります。ショーの振り付けを自分たちで考え、練習しオリジナルの楽しいショーを作りましょう。		
			



リンク先	No.2	【公演団体名 有限会社 劇団かかし座 】
項目内容	<p><b>B. Hand Shadow Show上演 (Part2)</b></p> <p>事前ワークショップで学び取り組んだ手影絵によるショーを、上演します。 （[共演者の学年・人数]高学年10人程度 当日リハーサル有り）</p> <p><b>手影絵ショーを上演しよう</b></p> <p>劇団員のレクチャーを受け、ワークショップで取り組んだミニ手影絵ショーを音楽にのせて上演します。</p> <p><b>ポイント</b></p> <p>手影絵は光源に対し組んだ手の向きを調整することによって、その動物に見えます。 また頭の影がスクリーンに映ってはいけません。手の向きや頭の影に気をつけながら映しましょう。 手や身体を組み合わせた影で、動物などの様々な形を作り出します。</p> 	

リンク先	No.2	【公演団体名 有限会社 劇団かかし座 】
項目内容	<p><b>C. 台詞(シエト応援隊)での共演 (Part3)</b></p> <p>事前ワークショップで学んだ台詞と歌とダンスを、公演で俳優と共に演じます。        ([共演者の学年・人数]中～高学年10人程度 当日簡単なリハーサル有り)</p> <p><b>台詞と歌とダンスでの参加</b></p> <p>物語の各場面において、シエトを始めとする登場人物たち(俳優)のきっかけに合わせて、物語のキーとなる台詞を語り、歌を歌い、ダンスを踊ります。</p> <p><b>ポイント</b></p> <p>台詞で参加する児童の皆さんは、シエトの仲間であり応援隊です。台詞と歌とダンスでシエトを励まし、導き、物語を進行させましょう。</p> <p>大変多くの台詞や歌、ダンスを覚えなくてはなりません。チーム全員で語る台詞・歌・ダンスなので、しっかり覚えて、大きな声で語り・歌い・踊りましょう。</p> 	

リンク先	No.2	【公演団体名 有限会社 劇団かかし座 】
項目内容	<p><b>D. 妖精たち(台詞と踊り)による共演</b></p> <p>事前ワークショップで練習した台詞と踊りで公演に参加します。 簡単な衣装を身につけます。 ([共演者の学年・人数]高学年・女子 4~10人 当日リハーサル有り)</p> <p><b>台詞とダンスでの参加</b></p> <p>妖精たち(子どもたち)はドラゴンを目覚めさせる為、舞台に現れて、妖精と一緒にきっかけに合わせて台詞を語り、ダンスを踊ります。</p> <p><b>ポイント</b></p> <p>妖精チームは台詞と踊りなど演技で共演します。妖精を始め俳優とのチームワークも大事です。台詞のきっかけや踊りの動きやタイミングなどをしっかり覚えて、楽しく演じましょう。</p> 	

リンク先	No.2	【公演団体名 有限会社 劇団かかし座 】
項目内容	<b>E. エンディングでの全員参加(Part3)</b> 事前ワークショップで学んだ劇中の歌を、公演で俳優とともに歌って踊ります。 (当日簡単なリハーサル有り・基本出演児童のみ参加ですが、希望があれば全校児童で参加も可能) <b>エンディング</b> 出演児童全員が俳優たちと一緒に『Dr.Shadowの歌』に合わせて歌とダンスで参加します。 子どもたちはその場に立ちあがり、各々元気一杯に、歌い、踊ってエンディングを向かいます。 <b>ポイント</b> 最後は出演児童全員が参加し、合唱、ダンスを行い大団円に向かいます。 誰でも簡単に覚えられる歌とダンスですので、低学年を含めた全校児童で全員で参加するのも可能。 楽しく覚えて、充実した体験になるようお芝居を盛り上げましょう	
		

リンク先	No.2	【公演団体名 有限会社 劇団かかし座 】
項目内容	<p><b>【導入 影絵の体験学習】</b>  ○光源に対する角度によって影の形が変わったり、光源からの距離によって影が大きくなったり小さくなったりすることを実践しつつ紹介することで、影の性質や影絵で表現する面白さを伝えます。</p> <p>○昔ながらの手影絵やかかし座オリジナルの手影絵を演じてみせ、その作り方を紹介します。  ○会場:体育館</p> <p><b>【E:全員参加シーン】 ～歌・踊りの練習～</b>  ○「Dr.Shadowの歌」の歌と踊りを練習し、公演作品に対する期待と参加への意欲を持たせます。  ○会場:体育館</p> <p>※以下チームに分かれてのワークショップ  .....</p> <p><b>【A:「玉人形」チーム】 ～玉人形の製作とショーの構成～</b> 工作室&amp;体育館  ○上演児童は中～高学年10名程度。(4年生以上が望ましい。)  ○身近な素材(スポンジボール)で影絵人形を作り、影絵遊びができることを学び、劇団員の指導の下、自分オリジナルの玉人形を作ります。そして玉人形の動かし方を習い、ショーの構成(演技)を考えます。  ○会場:工作室&amp;体育館  ○公演当日は午前中リハーサルを行ない、午後の公演で上演します。</p> <p><b>【B: Hand Shadow Show(手影絵ショー)チーム】 ～手影絵の学習とショーの構成～</b>  ○上演児童は高学年10名程度。(5年生以上が望ましい。)  ○代表的な手影絵数種類を学んだ後、その組み合わせによる音楽にのせた楽しいショーを体験・練習します。  ○会場:体育館  ○公演当日は午前中リハーサルを行ない、午後の公演で上演します。</p> <p><b>【C:台詞(シエト応援隊)チーム】 ～台詞の練習～</b>  ○共演児童は低～高学年10名程度。□  ○影絵劇「シエトの冒険」の中で、シエトを応援する仲間として、語る台詞を習い、練習します。  ○会場:音楽室  ○公演当日は午前中に簡単な確認のリハーサルを行ない、午後の公演では台詞で共演します。</p> <p><b>【D:妖精チーム】 ～台詞と踊りの練習～</b>  ○共演児童は高学年の女子10名程度。  ○影絵劇「シエトの冒険」の登場人物である妖精の、台詞と踊りを習い練習します。  ○会場:音楽室  ○公演当日は午前中にリハーサルを行ない、午後の公演で共演します。</p> <p>※それぞれの参加人数や内容については、学校のご希望に合わせて検討、調整します。  Eは基本出演参加児童が行うが、希望があれば全校生徒も参加可能です。</p>	

リンク先	No.3	【公演団体名	有限会社 劇団かかし座 】
項目内容	<p>①体育館(手影絵チーム&amp;玉人形&amp;全員のダンスリハ)</p> 	<p>手影絵チーム、出演児童全員のラストダンスを行います。 玉人形チームは他の場所で工作後、体育館に戻りシーンの練習を行います。</p>	
	<p>②音楽室or会議室など(セット応援隊&amp;妖精隊)</p> 	<p>セット応援隊と妖精隊がWS・練習を行います。 大きな声・動きのあるダンスを行いますので、音楽室か会議室を希望。</p>	
	<p>③工作室(玉人形チームが製作する時のみ)</p> 	<p>玉人形を制作します。 場所は作業ゴミが出ますので、教室か工作室を希望。</p>	